

池田市自転車活用推進計画（概要版）

■自転車活用推進計画の策定背景と目的

●計画策定の背景と目的

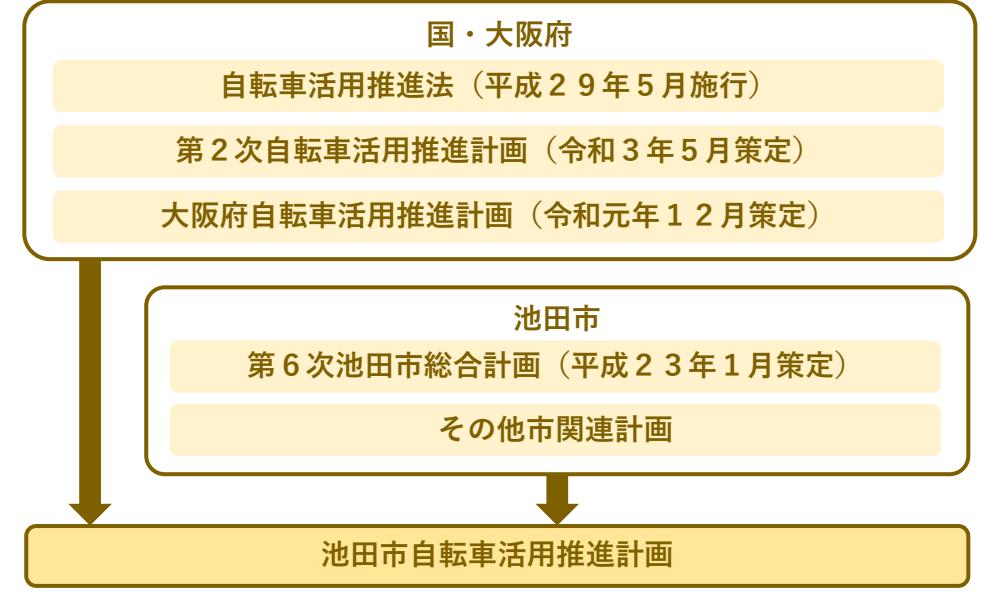
- ・自転車は環境にやさしいモビリティであり、身近な交通手段として通勤・通学、買い物、レジャー等、様々な場面で利用されています。
- ・本市においても、車に頼らず生活できる環境づくりや来訪者の回遊・周遊促進等、地域課題の解決に向け、自転車の活用を推進していく必要があります。
- ・本計画は、自転車を利用しやすい環境創出を行っていくために、自転車活用推進に向けた目標と実施すべき施策について取りまとめるものです。

●計画の位置づけ

- ・本計画は、自転車活用推進法第11条に基づき、国および府の自転車活用推進計画を踏まえて策定するものであり、本市の自転車に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本となる計画として位置づけます。

計画対象区域：池田市全域、計画期間：令和4（2022）年度から令和7（2025）年度までの4年間

▼計画の位置付け



■池田市の現状

地勢・人口・交通

■地勢

- ・鉄道駅を中心に都市機能が集積し、比較的コンパクトなまちなみが形成
- ・市域全域に公共交通網が整備されており、利便性が高い
- ・集客力のある観光施設や規模の大きい企業等も立地
- ・主要観光施設以外への周遊を十分に促せていない

■人口

- ・今後も人口減少及び高齢化が進行していく見通し
- ・生産年齢人口の市外への転出が多い

■交通

- ・公共交通の利用者数は減少傾向にあり、今後都市機能の維持が難しくなる恐れ
- ・将来の生活・移動に対し不安を抱える人も一定数存在

自転車

■利用状況

- ・自転車は約2割の人が利用し、特に中部・南部で利用が多い
- ・特に若者の利用が多く、高齢になるにつれ自転車利用割合が減少

■利用環境

- ・自転車安全利用モデル地区を指定し、矢羽根の整備を推進
- ・一方で、狭隘な道路が多く、自転車走行環境の整備が難しい
- ・シェアサイクルやレンタサイクルで一定の利用がみられる
- ・駐輪環境は一定程度整備されているが、石橋阪大前駅周辺で放置自転車が多い

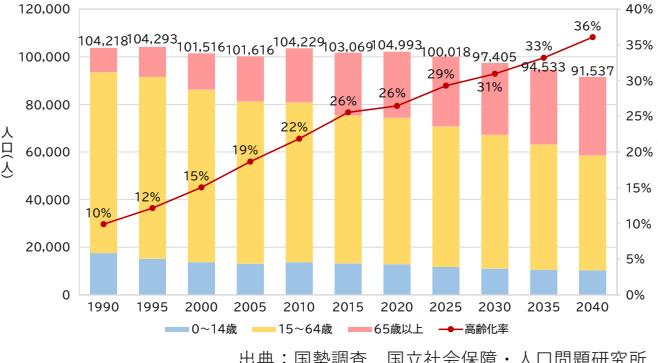
■事故・安全教育

- ・自転車関連事故件数は60件/年ほど発生し、国道・府道沿いで多く発生
- ・自転車安全教育を実施しているが、自転車のマナーが悪いといった意見あり

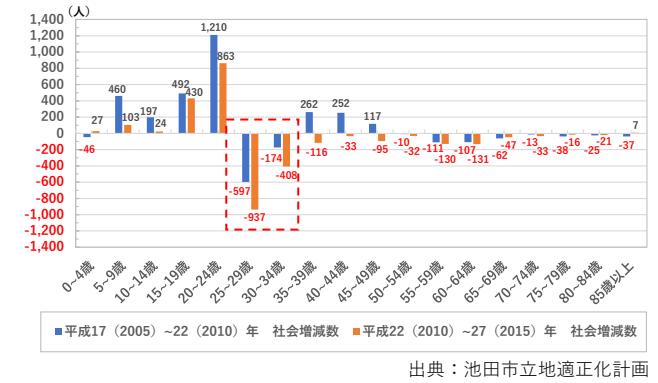
現状のまとめ

- 地域特性や人口減少・高齢化等から市民の移動手段の確保・維持が難しい状況
- 住み続けることに対する不安もあり、子育て層の流出傾向もみられる
- 自転車の利用ニーズはあるものの、地域の課題に対し十分に活用ができていない

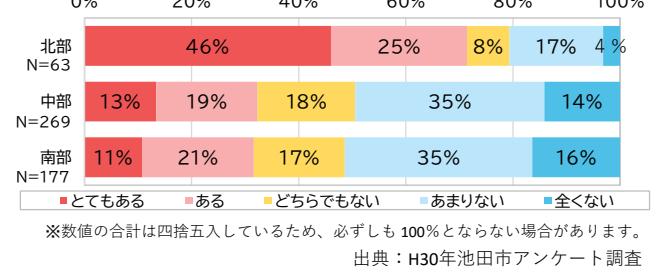
▼人口及び高齢化率の推移



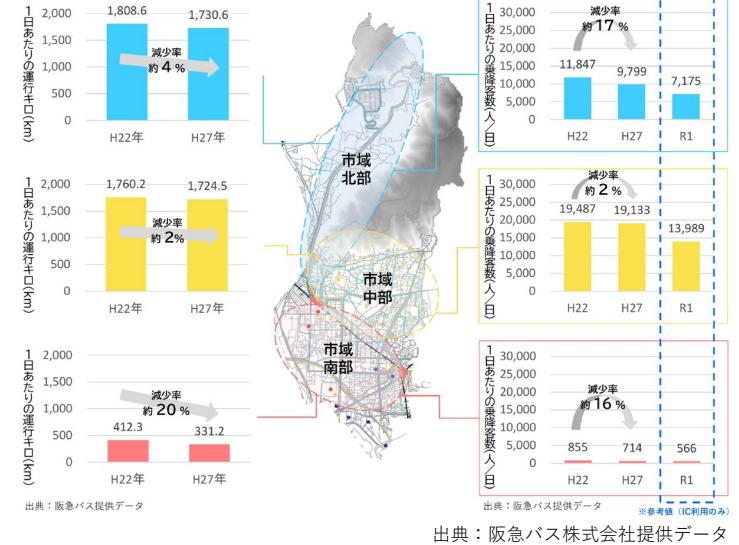
▼転出及び転入の状況



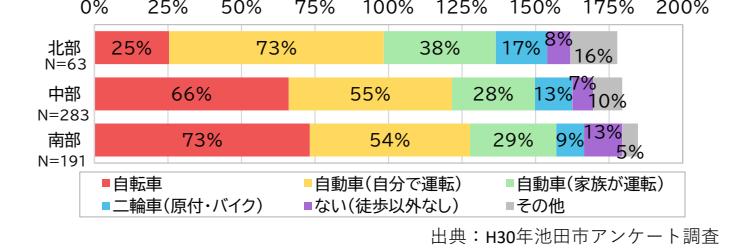
▼生活・移動に対する不安の有無



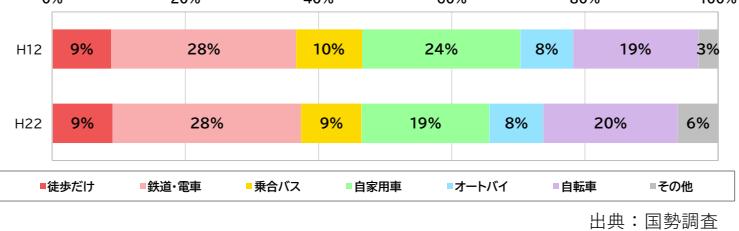
▼市内の公共交通の状況



▼自身で利用可能な交通手段



▼自転車の利用状況



池田市が目指すまちづくりの目標と実現に向けた課題

池田市が目指すまちづくりの目標・方向性

- にぎわいと活力があふれ、みんなが健康でいきいきと暮らせ、人・環境にやさしい安全・安心なまちを目指す
- コンパクトな市街地と利便性の高い暮らしを堅持+積極的に出かけたくなるような魅力創出



目標実現に向けた課題

<課題①> **長く住み続けられる移動・暮らしやすさの向上**

- 高齢者等でも安心して日常の移動・活動、生活ができる環境づくりが必要
- 健康維持・向上につながる活動環境づくりが必要

<課題②> **若い世代等が、新たに住みたくなる環境づくりの推進**

- 車に頼らずに通勤、子育て、生活がしやすい環境づくりが必要
- 環境に良い安全な交通と地域文化の醸成が必要

<課題③> **来訪者の回遊を促す接続性の向上**

- 周遊を促すシームレスな環境整備が必要
- 移動自体の魅力の向上が必要

自転車活用推進の方向性と施策内容

自転車の機能・特性 ①機動性、②接続性、③環境性、④健康性、⑤回遊性

自転車の機能を上手く活かし、公共交通を補完しながら地域課題へ対応

自転車活用の方向性

- ①高齢者を中心とした日常生活での移動環境の補完・形成
- ②中心部等で車に頼らず生活できる環境・仕組み、魅力的な地域づくりを展開
- ③機動性、親しみやすさを活かした周遊促進・創出

施策の内容

- 高齢者や子供等も日常移動に自転車を安全に使える環境づくり
取組：自転車通行環境の整備推進/生活道路対策等と連携した自転車通行環境の整備推進/自転車用ヘルメットの着用・普及促進
- 子供、子育て世代、高齢者等のステージに応じた使いやすい自転車供給
取組：放置自転車の再利用・譲渡等による自転車車両リユースの検討/高齢者にも使いやすい自転車等の普及促進
- 鉄道等と連携した通勤・通学等がしやすい利用環境の確保
取組：自転車IoT化等による駐輪場の効率的な運営の検討/放置自転車対策の強化/シェアサイクルの利用環境の拡大・充実
- 自転車からの地域文化の醸成・魅力づくり
取組：交通安全教室や自転車教室の拡大・充実/環境学習と連携した自転車教育の推進
- 新しい生活様式を踏まえた自転車通勤の推進
取組：企業・団体等における自転車通勤の普及促進
- 自転車による運動、趣味等を促す環境づくり
取組：スポーツサイクルの普及促進
- 自転車による市内巡り・回遊を促す魅力づくり
取組：観光資源を活かした自転車モデルコースづくり/シェアサイクルの利用・周遊を促す仕組みづくり

都市環境・安全

健康

観光

池田市自転車活用推進計画の進め方

- 施策を着実に進めるため、指標を設定し、PDCAサイクルに基づいた確認を行います。
- 計画期間後は、評価や次期計画策定等を行い、目標実現に向け推進していきます。

| 指標 | データ取得方法 | 現状 | 4年後の目標値 |
|---------------------|----------|--------------------------------------|--|
| 自転車関連事故発生件数* | 大阪府警察データ | 80件/年 | 減少 (↘) 45件未満/年 |
| 駐輪場の利用状況* | 利用実績 | 池田駅：一時利用 40,685件 石橋駅：一時利用 46,700件 | 増加 (↗) 池田駅：一時利用 45,000件 石橋駅：一時利用 50,000件 |
| 放置自転車移動保管台数* | 移動実績 | 池田駅周辺：194台 石橋駅周辺：1,430台 | 減少 (↘) 池田駅周辺：120台 石橋駅周辺：950台 |
| シェアサイクルのポート数 | 設置実績 | 26箇所 | 増加 (↗) 50箇所 |
| シェアサイクルの利用回数 | 利用実績 | 約2,000回/月 | 増加 (↗) 約5,000回/月 |
| シェアサイクル利用による外出頻度増加率 | アンケート調査 | 27.3% | 増加 (↗) 約35% |

※新型コロナウイルス感染症拡大以前の令和元年度のデータを現状値として設定

